

文化、社会、歴史、宗教、言語などの視点から 世界と日本を理解する

日本、アジア、ヨーロッパといった空間軸の間で視野を柔軟に調整しつつ、文化、社会、歴史、宗教、言語などの視点から世界と日本を考察することによって、多様な他者と同時に多様な自己をも理解することをめざす。様々な多文化状況に適応する素養と思考力を身につける。

「世界の中のヨーロッパ」

担当教員：正本 忍

ヨーロッパの文化と文明の影響力は今なお大きい。本講義では第一に、ヨーロッパ文化の基層について基礎的な知識を得る。第二に、ヨーロッパ文明が世界にもたらした影響を環境面において検討する。

キーワード：ヨーロッパ、文化、文明、環境、歴史

「世界のことばの多様性」

担当教員：ルディ・トート

世界各言語に見られる表現の仕方の多様性に驚き、その表面下に人間の普遍性を見付ける。

キーワード：同一の人間性を表す多彩なことば

「宗教から見たアジア」

担当教員：伍嘉誠

宗教というレンズを通して動態するアジア社会を理解する。日本、中国大陸、台湾、香港などのアジア社会における宗教文化について考える。

キーワード：宗教と社会